

第1回吉田高校学校運営協議会

令和3年4月10日（土）
吉田高校朝日子ホール

次 第

- 1 開会の言葉
- 2 学校長あいさつ
- 3 学校運営協議会委員、学校職員紹介
- 4 吉田高等学校学校運営協議会会長等選出（互選）
会長・副会長挨拶
- 5 議事
 - （1）令和3年度吉田高等学校学校運営基本方針について
 - （2）令和3年度山梨県立吉田高等学校学校評価報告書について
 - （3）その他
- 6 連絡事項
 - （1）令和3年度年間行事予定について
 - （2）生徒会部活動について
 - （3）「総合的な探究の時間」について
 - （4）その他
- 7 閉会の言葉

議題 1 学校運営基本方針

吉田高等学校・スクール・ポリシー

SM（スクール・ミッション）教育の目的

山梨県では、第3期教育振興基本計画、総合計画および新やまなしの教育振興プランの現状と課題を踏まえ、基本理念を「学び続け 共に生き 未来を拓く やまなしの人づくり」と定めています。吉田高等学校は、富士北麓地域の県立高等学校として、この理念を実現するために、これまでの歴史と伝統を踏まえ、地域社会、生徒・保護者の期待に応えるために、改めて、教育の目的を次の通りに明確にします。

「Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことができる生徒を育成する」

GP（グラデュエーション・ポリシー）教育の目標

「吉田高校グラデュエーション・ポリシー」≡「何ができる」ようになってほしいかを端的に示します。目的を達成するため、本校の3年間をとおして身につけることを、資質・能力の視点で目標を示します。本校でのすべての教育活動をGPで繋ぎます。

CP（カリキュラム・ポリシー）教育課程編成の方針 ≡ 「何を」、「どのように」学ぶかを端的に示します。

目標実現のための本校での教育課程編成方針の概要を示します。

- ・高等学校教育三年間の全体を見通した教育課程 ≡ 教育課程の縦軸
- ・社会に開かれた教育課程 ≡ 校外資源（大学・研究機関・企業など）との連携による活力ある教育活動
- ・主体的協働的で深い学び ≡ 体験の重視。単なる発表会から、討論や質疑応答などの学びあいの重視
- ・教科横断的な視点に立って「見方・考え方」を鍛える ≡ 教育課程の横軸
- ・生徒が希望する進路を実現するための力 ≡ 大学進学希望者が圧倒的に多いことを踏まえた教育課程編成
- ・自己理解を深めるとともに、自己と社会との関わりについて深く考える教育課程 ≡ キャリア発達を促す
- ・教科、総合的な探究の時間、特別活動、部活動の関連付け ≡ 相乗効果を生むような関連付け
- ・目標、指導、評価の一体化 ≡ 目標との時間空間的位置感覚を重視。

AP（アドミッション・ポリシー）志願してほしい生徒像

GPに基づき、そのポリシーの下で主体的に高校生活を送ることができる意志や能力、適性について、受検生に表明します。特に、本校独自に行う、「前期募集選抜」について、志願してほしい生徒像、出願の条件、選抜資料作成の比重について示します。

志願してほしい生徒像

- (1) 本校の教育方針や特色をよく理解し、将来の目標を持ち、その実現に必要な課題に積極的に取り組む強い意志を持っている生徒。
- (2) 周囲と協働できる豊かな人間性を備えている生徒。
- (3) グローバルな視野をもって主体的に行動し、リーダーシップを発揮できる生徒。

出願の条件

普通科 志願してほしい生徒像に合致し、出席状況が良好で、学習意欲と知的探究心に溢れる生徒のうち、次の条件

A、条件Bのいずれかに該当する生徒。

条件A 学習成績が優秀で、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動・英検などの各種検定取得に積極的に取り組んだ生徒。

条件B 学習成績が優良で、体育活動あるいは文化活動において、県レベル以上の大会で優秀な成績を収めた生徒、または同等の能力を有している生徒のうち、**高校入学後も引き続き諸活動に取組もうとする強い意志をもつ生徒**。なお、団体の場合は、中心となって活躍した生徒とする。

理数科 志願してほしい生徒像に合致し、出席状況が良好で、学習意欲と知的探究心に溢れる生徒のうち、学習成績が極めて優秀で、理数教科にも関心を持ち、学校行事・生徒会活動・ボランティア活動・英検などの各種検定取得に積極的に取り組んだ生徒。

募集比率

普通科条件Aと普通科条件Bの募集比率について、中学校時代の教科評定だけでなく、中学校段階で頑張ってきた多様な活動をより高く評価したいことから、**募集比率の変更**を検討しています。

I 目 標

1 吉田高校の教育の目的

「Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことができる生徒を育成する」

※Yoshida PRIDE …… 何事にも自らの考えを持って主体的に臨み、他者を尊重するしなやかな心
 ※未来を生き抜くには…… 過去に学び、現在を知り、未来を考える手法を学ぶことが必要です

2 吉田高校の教育の目標 吉田高校グラデュエーション・ポリシー（吉高GP）

この目的を達成するため、本校の3年間をとおして次の8つの力を身につけることを目標とします。

- ① 自己肯定力 …… 短所も含めて、自分を認める力を身につけます
- ② 傾 聴 力 …… 他者の意見を謙虚に聞く習慣を身につけます
- ③ 分 析 力 …… 事実を客観的に分析する習慣を身につけます
- ④ 思 考 力 …… 物事を鵜呑みせず、「何故か」を考える習慣を身につけます
- ⑤ 発 信 力 …… 自分の考えを、わかりやすく他者に伝える方法を身につけます
- ⑥ 想 像 力 …… 未来（結果）を考え、想像する力を身につけます
- ⑦ 創 造 力 …… 課題を解決する方法を創造する力を身につけます
- ⑧ 行 動 力 …… 自分の考えに基づき、行動する力を身につけます

3 学校経営目標

学校運営協議会設置を受けて、保護者及び地域住民等の学校運営への参画や学校運営への支援・協力を得ることにより、学校と保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や生徒の健全育成に取り組む。

- (1) 学校内で行われるすべての活動を、「教育目標」の視点で繋ぎ、検証、改善を行うカリキュラム・マネジメントを推進する。
- (2) 授業を基盤に、学校行事やクラブ活動を通して、生徒の主体性を育むきめ細かな指導に努める。
- (3) 学校生活を通し、**挑戦することや打ち込むことの楽しさを実感できる環境を提供する。**
- (4) **学校運営協議会の場を活用して地域社会の参画・協力を得て協議を行い、**地域・家庭・関係機関と連携し、生徒の心に向き合った指導に努めるとともに、**地域に開かれ**信頼される学校、安全な学校づくりに努める。
- (5) 業務改善を進め、教員が生徒と向き合う時間を確保できる学校づくりに努める。

4 今年度の指導重点

- (1) 生徒の知識活用力を高める
 - ① 吉高GPを常に意識し、生徒が主体的に参加する授業を実施する。
 - ② 評価を適切に行い、生徒の自己効用感、自己肯定感の高揚を図る。
 - ③ **ICT機器を効果的に活用すると共に、**授業と連動した課題を設定し、知識の活用・定着を図る。
- (2) 生徒の主体性を高める
 - ① 常に「分析、思考、創造」を促し、発信する機会の提供を意識した指導を行う。
 - ② 身の回りに存在する課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し」行動することができる生徒像を意識した指導を行う。
 - ③ 自分の行動に責任を持ち、自ら行動する態度を養う。
- (3) 人とのかかわりの中で生きていることを自覚させる
 - ① 周囲との関わりの中で、自己有用感を養う。
 - ② 社会の一員として社会に関心を持ち、未来の社会について考える態度を養う。
 - ③ ユネスコスクールへの加入を通して他国の同世代の高校生とのネットワーク構築をめざす。
 - ④ ESDパスポートを活用し、ボランティア精神を養う。
 - ⑤ **礼節を重んじ、自立した人間として他者とよりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。**

5 今年度のスローガン

「やらまいか」

※困難に立ち向かい「やっぴまおう」という積極的な言葉

日	曜	4月	休	日	曜	5月	休
1	木	年度始め休業(～4/6) [査・職・学・教科・係]	×	1	土	理数科登校学習会	
2	金	理数科登校学習会(新入生体験学習会)	×	2	日		
3	土		×	3	月	【憲法記念日】	
4	日		×	4	火	【みどりの日】	
5	月	[職・係・学]	×	5	水	【こどもの日】	
6	火	新任職員オリエンテーション	×	6	木		○
7	水	新任式・始業式 LHR・大掃除・入学式式場設営 生徒会自治集会 部長会議	△	7	金		○
8	木	入学式 第1学年PTA保護者会	△	8	土		
9	金	AM 対面式・納め式 LHR 高校生活が'イッ'ス(1) PM LHR・個人写真撮影・ｽﾏｰﾀｲ教室(1) 理数科集会	○	9	日		
10	土			10	月	(総休前 40分×7h授業)	○
11	日			11	火	(総休前 40分×7h授業) <校長会②>	○
12	月	スタディサポート LHR 進路希望調査(2・3) <校長会①> 理数科生活学習検討会①(3) 第1回生徒評議会	○	12	水	高校総体 学年別課題授業(AM)	△
13	火	AM 身体計測 LHR 防災避難訓練 PM 授業開始 実力テスト(3:理社) 校歌応援歌が'イッ'ス(1)	○	13	木	…開閉会式なし 無観客での開催 学年別課題授業(AM)	△
14	水	平常授業開始 理数科8校時開始(2・3) 校歌応援歌練習(1) 理数科生活学習検討会①(2)	○	14	金	特別時間割(AM)	△
15	木	校歌応援歌練習(1) [運]	○	15	土	[駿](3)	
16	金	理数科生活学習検討会①(2) PTA学年委員会・第1回理事会 結核検診AM(1) 校歌応援歌練習(1) 部活動見学(～4/25)	○	16	日		
17	土	OS①(2・3)		17	月	[学]	○
18	日			18	火	自転車点検 尿検査(二次)	○
19	月	小論文委員会 第1回生徒委員会集会 蒼風祭実行委員会	○	19	水	進路学習会(3)・567h 第2回PTA理事会 [運・評①]	○
20	火	理数科8校時開始(1) ([学])	○	20	木	耳鼻科検診(1) [カ]	○
21	水	交通安全講話・7h 第2回生徒評議会 [職]	○	21	金	①②③④⑤⑥の授業 総体納め式・関東大会壮行会・7h 推薦委員会①	○
22	木	心電図検診(1) 理数科生活学習検討会①(1)	○	22	土	全統模試(1・2・3 希望者)	
23	金	進路希望調査(1)	○	23	日	同窓会年次総会	
24	土	全統共通テスト模試(3)		24	月	前期第1回試験時間割発表 県高P連理事会①	○
25	日			25	火	理数科推進委員会①	○
26	月	部登録集会	○	26	水	内科検診(1) [職]	○
27	火	尿検査(一次) [カ]	○	27	木		○
28	水	①②③④の授業 前期生徒総会・総体壮行会・56h 大掃除・7h	○	28	金	県高P連定期総会	○
29	木	【昭和の日】 PTA総会・保護者対象進路説明会		29	土	OS②(1・2・3)試験前	
30	金		○	30	日	英検一次	
				31	月	前期第1回試験	△
備考		1 2 3 4 5 6 7 学校運営協議会	○	15		1 2 3 4 5 6 7 夏服更衣	○
	月	2 2 2 2 2 2 2	△	2	備	月 3 3 3 3 3 3 3 マナーアップ運動①	△
	火	2 2 2 2 2 2 2	×	6	考	火 3 3 3 3 3 3 3 理数科課題研究打ち合わせ期	×
	水	3 3 3 3 2 2 2	休	7	考	水 2 2 2 2 2 2 2 間(2)	休
	木	2 2 2 2 2 2 2				木 3 3 3 3 3 3 3	
	金	3 3 3 3 3 3 3			金 3 3 3 3 3 3 2		

- [職]職員会議 [学]学年会議 [入]入力完了 [看]看護模試
- [査]査定会議 [旅]旅行委員会 [票]個票提出 [河]全統模試 [公]公務員模試
- [運]運営委員会 [掃]掃除 [表]一覧表提出 [進]進研模試 [就]就職模試
- [評]学校評価委員会 [係]各係会議 [駿]駿台模試 [論]小論文模試
- [カ]カリキュラムマネジメント委員会 [代]代ゼミ模試 [学研]学研模試

日	曜	6月							休	日	曜	7月							休			
1	火	前期第1回試験							△	1	木	蒼風祭準備日 PTA蒼風祭準備							○			
2	水	<校長会③>							△	2	金	蒼風祭 PTA蒼風祭協力事業							○			
3	木	特活クレジット・小論文説明会(学年集会時)							△	3	土	蒼風祭 PTA蒼風祭協力事業							○			
4	金	追試験							○	4	日	英検二次・B日程										
5	土	進研マーク模試・就公模試(3) [駿](1・2)								5	月	(7/3の代休)										
6	日	学校林整備事業(同窓会)								6	火	大麻薬物乱用防止教室・1h <校長会④> [学]							○			
7	月								○	7	水	野球応援練習 [運]							○			
8	火								○	8	木	理数科生活学習検討会②(2)							○			
9	水	内科検診(2) [運・評②]							○	9	金	理数科生活学習検討会②(1) 関東高P連(山梨大会)							○			
10	木	歯科検診(3)							○	10	土	OS③ 進研模試(1・2・3) 関東高P連(山梨大会)										
11	金	漢字検定① [票・入]							○	11	日											
12	土									12	月	④⑤⑥⑦の授業 PM三者懇談 フードドライブ①(~7/20)							△			
13	日									13	火	①⑤⑥⑦の授業 PM三者懇談							△			
14	月								○	14	水								[職]	○		
15	火	高校生のための文化講演会 14:30~ 理数科企業見学(2)							○	15	木	①②③④の授業 PM三者懇談							△			
16	水	第3回PTA理事会 [表]							○	16	金	④⑤⑥⑦の授業 PM三者懇談 生徒会役員選挙公示							△			
17	木	歯科検診(2)							○	17	土	大学別模試(3) 理数科夏期課外(2)										
18	金	①②③⑤⑥⑦の授業 蒼風祭ブロック集会・7h [学]							○	18	日											
19	土									19	月	①②③⑦の授業 PM三者懇談							△			
20	日									20	火	①②③④の授業 PM三者懇談							△			
21	月								○	21	水	AM 休業前集会・合同LHR・LHR・大掃除							△			
22	火	理数科生活学習検討会②(3)							○	22	木	【海の日】 部活動優先期間(7/22~8/8) 理数科課題研究(2)										
23	水	内科検診(3) [査3・職]							○	23	金	【スポーツの日】										
24	木	歯科検診(1) [カ]							○	24	土	東京五輪自転車ロード競技運営ボランティア参加										
25	金	調査書作成委員会							○	25	日	東京五輪自転車ロード競技運営ボランティア参加 代ゼミ共通テスト対策講座(3)?										
26	土									26	月	夏季休業(~8/20) 理数科夏期課外(1・3) 夏期課外(3)							×			
27	日	英検二次・A日程								27	火								×			
28	月								○	28	水	(7/22~8/4の うち2日間)							×			
29	火	★木曜日の授業							○	29	木								×			
30	水								○	30	金								×			
										31	土	全統共通テスト模試(3) 理数科夏期課外(2) 大学別模試(3)							×			
備考	授 業 実 施 数	1	2	3	4	5	6	7	マナーアップ運動②	○	19	授 業 実 施 数	1	2	3	4	5	6	7	諸届け受付 各祭典巡回	○	8
	月	4	4	4	4	4	4	4	図書館利用ガイダンス(1)	△	3	月	1	1	1	1	1	1	2		△	7
	火	3	3	3	3	3	3	3	尿検査(三次)	×	0	火	2	2	2	2	2	2	2	7/31~8/6 全国高校総文祭 (和歌山大会)	×	6
	水	4	4	4	4	4	4	4		休	8	水	2	2	2	2	2	2	2		休	10
	木	4	4	4	4	4	4	4				木	2	2	2	2	1	1	1			
金	4	4	4	3	4	4	4				金	1	1	1	2	2	2	2				

[職]職員会議 [学]学年会議 [入]入力完了 [看]看護模試
 [査]査定会議 [旅]旅行委員会 [票]個票提出 [河]全統模試 [公]公務員模試
 [運]運営委員会 [掃]掃除 [表]一覧表提出 [進]進研模試 [就]就職模試
 [評]学校評価委員会 [係]各係会議 [駿]駿台模試 [論]小論文模試
 [カ]カリキュラムマネジメント委員会 [代]代ゼミ模試 [学研]学研模試

日	曜	8月							休	日	曜	9月							休			
1	日	大学別模試(3)	↓	理数科夏期課外(2)	理数科課題研究(2)				×	1	水	強歩大会事前健康相談 共通テスト出願ガイダンス(3)・7h	富士吉田市総合防災訓練						○			
2	月	夏期課外(3)	理数科夏期課外(1・3)	(7/22~8/4の うち2日間)					×	2	木								○			
3	火				<校長会⑤>				×	3	金	①②③④⑤⑥の授業 生徒会役員選挙 立会演説会・投票 7h						[運・評③]	○			
4	水								×	4	土	第1回進駿共通テスト模試(3)										
5	木				教育課程研究会(本校・地歴公民部会)				×	5	日											
6	金				理数科宿泊学習会				×	6	月	①②③④⑤⑥の授業 強歩大会オリエンテーション・7h							○			
7	土								×	7	火	富士登山強歩大会(雨天順延時は火曜日の授業) PTA協力 <校長会⑥>							○			
8	日	[山の日]							×	8	水	富士登山強歩大会予備日 理数科生活学習検討会③(1)							○			
9	月	(振替休日)	学習優先期間(8/9~8/23)							×	9	木	前期第2回試験時間割発表 推薦委員会②						○			
10	火	夏期課外(3)							×	10	金							[学]	○			
11	水	↓							×	11	土	OS⑤(1・2・3)試験前										
12	木	大学別模試(3)							×	12	日											
13	金	閉庁							×	13	月	理数科生活学習検討会③(3)							○			
14	土	閉庁							×	14	火	理数科生活学習検討会③(2)							○			
15	日	閉庁							×	15	水							[職]	○			
16	月								×	16	木	前期第2回試験							△			
17	火	夏期課外(3)	夏期学習会(1・2)	理数科夏期課外(1・2・3)					×	17	金								△			
18	水							[運]	×	18	土											
19	木								×	19	日											
20	金	↓	↓	↓					×	20	月	[敬老の日]										
21	土	オープンキャンパス								21	火	前期第2回試験							△			
22	日	OS④ 全統模試(1・2・3)								22	水		小論文模試(3 試験後)						△			
23	月	AM 納め式 合同LHR・LHR等 PM 心肺蘇生法講習 就職・特活クラブ認定委員会						[職]	△	23	木	[秋分の日]										
24	火				全国高P連(鳥根県)				○	24	金	追試験							○			
25	水	生徒会役員選挙告示			全国高P連(鳥根県)			[学]	○	25	土	OS⑥(1・2) メカパイロット・学年独自						[駿](3)				
26	木								○	26	日											
27	金	第4回PTA理事会							○	27	月								○			
28	土	大学別模試(3)	理数科課題研究発表会(1・2)							28	火	第2回生徒委員会集会						[カ]	○			
29	日	大学別模試(3)								29	水	進路学習会(1)・567h 面接ガイダンス(3)・67h							○			
30	月								○	30	木	AM ①②③④の授業 面接対策講座(ビデオ)(3) PM 納め式・生徒会役員認証式・前期末集会・LHR							○			
31	火								○													
備 考		1	2	3	4	5	6	7	各種祭典巡回	○	6								冬服更衣	○		
		月	1	1	1	1	1	1		△	1	備	月	3	3	3	3	3	3	2	マナーアップ運動③	△
		火	2	2	2	2	2	2		×	20	考	火	2	2	2	2	2	2		×	
		水	1	1	1	1	1	1		休	4	考	水	4	4	4	4	4	4		休	
		木	1	1	1	1	1	1					考	木	3	3	3	3	2	2	2	
	金	1	1	1	1	1	1						考	金	3	3	3	3	3	3	2	

- | | | | | |
|--------------------|----------|----------|------------|----------|
| [職]職員会議 | [学]学年会議 | [入]入力完了 | OS:オープスタディ | [看]看護模試 |
| [査]査定会議 | [旅]旅行委員会 | [票]個票提出 | [河]全統模試 | [公]公務員模試 |
| [運]運営委員会 | [掃]掃除 | [表]一覧表提出 | [進]進研模試 | [就]就職模試 |
| [評]学校評価委員会 | [係]各係会議 | | [駿]駿台模試 | [論]小論文模試 |
| [カ]カリキュラムマネジメント委員会 | | | [代]代ゼミ模試 | [学研]学研模試 |

日	曜	10月		日	曜	11月	
1	金		○	1	月		○
2	土	第2回進駿記述模試(3) [駿](1・2)		2	火		[学] ○
3	日			3	水	[文化の日] 大学別模試(3)	
4	月	★水曜日の授業 履修科目予備登録(1・2) [票・入]	○	4	木	推薦委員会④	○
5	火		[運] ○	5	金	漢字検定②	[運] ○
6	水	体育祭(雨天順延時は木曜日の授業) 全国理数科教育研究大会(徳島県)	○	6	土	大学別模試(3)	
7	木	体育祭予備日 全国理数科教育研究大会(徳島県) [表]	○	7	日	英検二次・A日程 大学別模試(3)	
8	金	進路希望調査(1・2・3) [学]	○	8	月	後期第1回試験時間割発表(3)	○
9	土	理数科セミナー 大学別模試(3)		9	火		<校長会⑦> ○
10	日	英検一次 大学別模試(3)		10	水		[職] ○
11	月		○	11	木	芸文祭グランドステージ・パレード	○
12	火		○	12	金		○
13	水	第5回PTA理事会 [査・職]	○	13	土		
14	木	推薦委員会③	○	14	日	英検二次・B日程	
15	金		○	15	月	修学旅行(2) 後期第1回試験(3)	○
16	土	全統記述模試(3) Z-KA1アドバンス(2)		16	火		○
17	日	大学別模試(3)		17	水		第6回PTA理事会 ○
18	月		○	18	木		○
19	火		○	19	金	追試験	○
20	水	[創立記念日]	×	20	土	[県民の日] ○S⑧(1・2) 大学別模試(3)	
21	木		○	21	日	大学別模試(3)	
22	金	★水曜日①②③④⑤の授業 後期生徒総会・67h	○	22	月	後期第1回試験時間割発表(1・2)	○
23	土	大学別模試(3)		23	火	[勤労感謝の日] 全統プレ共通テスト(3)	
24	日	大学別模試(3)		24	水	進路学習会(2)・567h [カ]	○
25	月		○	25	木	全統模試データリリース(3)	○
26	火	授業公開・保護者説明会(1)	○	26	金	理数科生活学習検討会④(3)	○
27	水	出願ガイダンス(3) 6h文系・7h理系	○	27	土	○S⑨(1・2) 試験前	
28	木	授業公開・保護者説明会(2)	○	28	日	代ゼミ共通テスト対策講座(3)	
29	金		[カ] ○	29	月		[票・入3] [運] ○
30	土	○S⑦ 進研模試(1・2) 第3回進駿共通テスト模試(3)		30	火	後期第1回試験(1・2)	○
31	日	進研模試(2)					
備 考		1 2 3 4 5 6 7 学校運営協議会	○ 20	備 考		1 2 3 4 5 6 7 防災避難訓練 普通自動車免許取得説明会① マナーアップ運動④	○ 20
	授 業 実 施 数	月 3 3 3 3 3 3 3	△ 0		授 業 実 施 数	月 5 5 5 5 5 5 5	△ 0
		火 4 4 4 4 4 4 4	×			火 3 3 3 3 3 3 3	×
		水 4 4 4 4 4 3 3	休 10			水 3 3 3 3 3 3 3	休 10
		木 4 4 4 4 4 4 4				木 4 4 4 4 4 4 4	
	金 4 4 4 4 4 4 4			金 4 4 4 4 4 4 4			

- | | | | | |
|--------------------|----------|----------|------------|----------|
| [職]職員会議 | [学]学年会議 | [入]入力完了 | ○S:オープスタディ | [看]看護模試 |
| [査]査定会議 | [旅]旅行委員会 | [票]個票提出 | [河]全統模試 | [公]公務員模試 |
| [運]運営委員会 | [掃]掃除 | [表]一覧表提出 | [進]進研模試 | [就]就職模試 |
| [評]学校評価委員会 | [係]各係会議 | | [駿]駿台模試 | [論]小論文模試 |
| [カ]カリキュラムマネジメント委員会 | | | [代]代ゼミ模試 | [学研]学研模試 |

日	曜	12月							日	曜	1月													
1	水	後期第1回試験(1・2)							○	1	土	【元旦】							×					
2	木	[表3]							○	2	日	学校閉鎖							×					
3	金	[学3]							○	3	月	↓							×					
4	土	共通テストシミュレーション①(3)								4	火	共通テストゼミ(3) 理数科冬期課外(1・2) 冬期学習会(1/2)AM							×					
5	日	共通テストシミュレーション①(3)								5	水	↓							×					
6	月	追試験 履修科目本登録(1・2) 私大検討会①(3)							○	6	木	共通テストシミュレーション②(3)							×					
7	火	私大検討会②(3)							○	7	金	[掃]							○					
8	水	私大検討会③(3) [査3・職]							○	8	土	[駿](2) Z-KAIアドバンス(1)												
9	木	理数科生活学習検討会④(2)							○	9	日													
10	金	[票・入12]							○	10	月	【成人の日】												
11	土	OS⑩(1・2) 総合教育センター電気点検のためネットワーク停止(終日)								11	火	[学]							○					
12	日									12	水	共通テスト激励会(3)・7h							○					
13	月	フードドライブ②(~12/17) 理数科生活学習検討会④(1)							○	13	木								○					
14	火	クリスマスツリー点灯式							○	14	金	[運]							○					
15	水	[表12]							○	15	土	大学入学共通テスト OS⑪ 進研模試(1・2)												
16	木	福祉講話(1・2)・7h							○	16	日	大学入学共通テスト 進研模試(2)												
17	金	[学]							○	17	月	共通テスト自己採点(3)・1~4h							○					
18	土									18	火	理数科推進委員会③							○					
19	日									19	水	第7回PTA理事会 [カ]							○					
20	月								○	20	木								○					
21	火	理数科企業見学(1)							○	21	金	最後の小論文(3)・567h							○					
22	水								○	22	土													
23	木								○	23	日	英検一次												
24	金	AM 大掃除・休業前集会・納め式・合同LHR・LHR							△	24	月	[職・前期入試]							○					
25	土	共通テストゼミ(3) 理数科冬期課外(1・2)								25	火	国公立大検討会(3)							○					
26	日									26	水	国公立大検討会(3)							○					
27	月	冬季休業(~1/6)							×	27	木								○					
28	火	仕事納め							×	28	金								○					
29	水	学校閉鎖							×	29	土	[駿](1) 進研プロシード(2)												
30	木								×	30	日													
31	金								×	31	月	③④⑤⑥⑦の授業 前期募集検査会場設営・6h							○					
備 考		1	2	3	4	5	6	7	諸届け受付	○	17		1	2	3	4	5	6	7	普通自動車免許取得説明会②	○	16		
	授 業 実 施 数	月	3	3	3	3	3	3	3	△	1	備 考	月	2	2	3	3	3	3	3	3	マナーアップ運動⑤	△	0
		火	3	3	3	3	3	3	3	×	5		火	3	3	3	3	3	3	3		×	6	
		水	3	3	3	3	3	3	3				水	3	3	3	3	3	3	3				
		木	3	3	3	3	3	3	2				木	3	3	3	3	3	3	3				
	金	2	2	2	2	2	2	2				金	4	4	4	4	4	4	4					

- | | | | | |
|--------------------|----------|----------|------------|----------|
| [職]職員会議 | [学]学年会議 | [入]入力完了 | OS:オープスタディ | [看]看護模試 |
| [査]査定会議 | [旅]旅行委員会 | [票]個票提出 | [河]全統模試 | [公]公務員模試 |
| [運]運営委員会 | [掃]掃除 | [表]一覧表提出 | [進]進研模試 | [就]就職模試 |
| [評]学校評価委員会 | [係]各係会議 | | [駿]駿台模試 | [論]小論文模試 |
| [カ]カリキュラムマネジメント委員会 | | | [代]代ゼミ模試 | [学研]学研模試 |

日	曜	2月							日	曜	3月											
1	火	前期募集検査 [票・入3]							×	1	火	卒業証書授与式 PTA会誌発行							△			
2	水	前期募集検査							×	2	水	後期募集検査会場設営・6h							○			
3	木								○	3	木	後期募集検査							×			
4	金	漢字検定③ [表3][選][職]							○	4	金	後期募集検査採点							×			
5	土	共通テスト対策模試(2 希望者)								5	土	理数科春期課外(1・2)										
6	日	共通テスト対策模試(2 希望者)								6	日	代ゼミ共通テスト対策講座(2)口										
7	月								○	7	月	AM 答案返却 PM 授業 後期募集追検査(総合教育センター)							○			
8	火	前期募集内定 [学]							○	8	火	球技大会(1日目)							○			
9	水	第8回PTA理事会・3学年委員会 [査3・職]							○	9	水	球技大会(2日目) [選][職]							○			
10	木	<校長会⑨>							○	10	木	共通テスト対策模試(1・2) [票・入12][運・評⑤]							○			
11	金	【建国記念の日】								11	金	入学許可予定者発表							○			
12	土									12	土	OS⑬(1・2)卒業生の話を聞く 理数科春期課外(1・2)										
13	日									13	日											
14	月	後期第2回試験時間割発表(1・2)							○	14	月								○			
15	火								○	15	火	[表12]							○			
16	水	[職・後期入試]							○	16	水								○			
17	木								○	17	木	[学]							○			
18	金								○	18	金	[査12・職]							○			
19	土	OS⑩(1・2)試験前								19	土	理数科春期課外(1・2)										
20	日	英検二次・A日程								20	日											
21	月	後期第2回試験							△	21	月	【春分の日】										
22	火	(PM 式場設営・大掃除)							△	22	火	新入生オリエンテーション							○			
23	水	【天皇誕生日】								23	水	★月曜日の授業							○			
24	木	後期第2回試験 (PM 式場設営・大掃除)							△	24	木	PM 納め式・大掃除 [掃]							○			
25	金	PM 式場設営・大掃除							○	25	金	AM 終業式・離任式・LHR PM 追認試験							△			
26	土	理数科春期課外(1・2) (~3/21)								26	土	新入生体育着等販売 理数科宿泊学習会(1・2)										
27	日	英検二次・B日程								27	日											
28	月	卒業式予行・納め式・表彰式・同窓会入会式							△	28	月	学年末休業 (~3/31)							×			
										29	火	新主任会議							×			
										30	水								×			
										31	木	諸帳簿提出							×			
備 考		1	2	3	4	5	6	7	学校運営協議会	○ 12	備 考		1	2	3	4	5	6	7	中高生指連絡協議会	○ 14	
	授 業 実 施 数	月	2	2	2	2	2	2	2	△ 4		授 業 実 施 数	月	2	2	2	2	2	3	3	3	△ 2
		火	2	2	2	2	2	2	2	×			火	2	2	2	2	2	2	2	2	×
		水	2	2	2	2	2	2	2	休 10			水	2	2	2	2	2	1	1	1	休 9
		木	3	3	3	3	3	3	3				木	2	2	2	2	2	1	1	1	
		金	2	2	2	2	2	2				金	2	2	2	2	2	2	2			

[職]職員会議 [学]学年会議 [入]入力完了 OS:オープスタディ [看]看護模試
 [査]査定会議 [旅]旅行委員会 [票]個票提出 [河]全統模試 [公]公務員模試
 [運]運営委員会 [掃]掃除 [表]一覧表提出 [進]進研模試 [就]就職模試
 [評]学校評価委員会 [係]各係会議 [駿]駿台模試 [論]小論文模試
 [カ]カリキュラムマネジメント委員会 [代]代ゼミ模試 [学研]学研模試

令和3年度 部活動 顧問一覧

文化局

部 名		顧 問 名	
写 真		○ 古賀 直行 赤池 和佳奈	
美 術		○ 小川由希子 石原 みち代	
放 送		○ 島袋 あゆみ 畠山 尚也	
音 楽		○ 徳満 裕樹 渡辺 重敏	
吹奏楽		○ 小佐野 拓 土屋 美昭	
書 道		○ 川崎はるな 羽田 あゆみ	
数 理 部	数学班	○ 有野 将太	左記は代表者 教科でバック アップ
	物理班	○ 萱沼 徳重	
	化学班	○ 川久保幸大	
	生物班	○ 川崎はるな	
茶 道		○ 志村 和美 米山 直美	
華 道		(休部)	
箏 曲		○ 久保田 幸代 小林 明美	
社会研究		○ 宮下 昇 土屋 美昭	
囲碁・将棋		○ 堀内 寛子 古賀 直行	
E S S		○ 小林 美樹 新城 美佳	

体育局

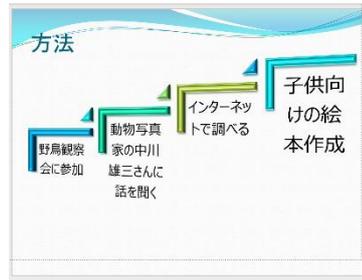
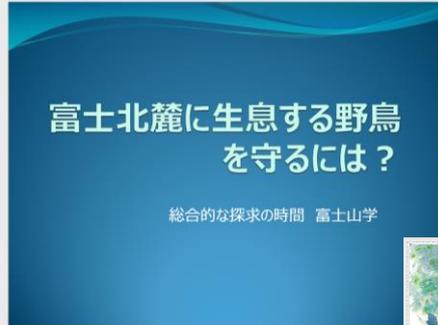
部 名		顧 問 名	
陸 上		○ 小佐野紗和子 宮下 昇	
野 球		○ 長田 敏夫 伊藤 伸一	河野 伸哉
剣 道		○ 木下 花子 小川由希子	
サッカー		○ 小河内竜之介 三木 康司	
★ スケート		○ 在原 綱樹 宮下 弘文	
柔 道		○ (生徒会)	
ハンド(男)		○ 渡邊 浩一	舟久保 豊
ハンド(女)		○ 田村 貞文	
ラグビー		○ 深沢真一郎 徳満 裕樹	
卓 球		○ 赤池 和佳奈 渡辺 重敏	
バスケ(男)		○ 堀川 萌美	渡辺 邦代
バスケ(女)		○ 渡辺 文章	
バレー(男)		○ 若林 允文	萱沼 徳重
バレー(女)		○ 宮下 一幸	
ソフトテニス(男)		○ 山本 智娑	東 一孝
ソフトテニス(女)		○ 川久保 幸大	
ポ ー ト		○ 萱沼 徳重 広瀬 庄一	
★ ヨ ッ ト		○ 天野 喬文 成島 未彩	
☆ 弓 道		○ 小松 秀幸 有野 将太	
☆ ウエイト		○ 渡邊 勇人 藤田 晴彦	
山 岳		(休部)	

↑ 山梨県高等学校強化指定部、★男女指定、☆男子指定、◎女子指定



「富士山学」の成果

昨年度の成果物と生徒の感想



↑ 昨年度の最優秀賞

上位3名には以下のような発表がありました。

- ・ 外国人観光客向けの案内リーフレット
- ・ 移住促進、地域の魅力を Instagram で紹介
- ・ 雑誌で紹介されない地域の魅力を集めたポスター

昨年度のアンケートより

代表者による発表を聞いた感想

- ・ とてもボキャブラリーに富んでいて聞いていて楽しかった。ただ淡々と発表するよりも聞き手の気持ちになっていると感じた。
- ・ アンケートを自分で駆とかに聞きに行ったり 成果物を作るだけでなくそれを改善したりしていたから。
- ・ 声も堂々としていて他の人とは違う観点で探究していたから。
- ・ 絵本を作り、その紹介とさらに読み聞かせもあって本当にすごかったです!!
- ・ 実際にインタビューした外国人と写真を撮ってたところと成果物を駅などに置いていたところ。発表もスムーズでわかりやすかったです。
- ・ 見ていて飽きなかった 楽しめた。

商工会議所青年部講演での感想

- ・ コロナ禍で観光業界が厳しい状況にあっても、今できることをしている方を見て、自分も今出来る精一杯を意識しながら今を大切にしようと思いました
- ・ 想いあい観光プロジェクトで感染予防を徹底することで、お店側も観光客も安心して過ごすことが出来ると思いました。コロナで観光業が衰退している中で観光を盛り上げていかなければならないと思った。
- ・ 講演と重なる話を家庭科でも聞き、興味を持って聞くことができました。服によって織り方が異なり、強度が変えられることが分かりました。また実際に3種類の織り方を見せてもらってとても面白かったです。

「地域が『先生』」

「先生は『アドバイザー』」

学校の先生は、富士北麓地域の現実を十分に把握しているわけではありません。「富士山学」で学校の先生は、探究の指針を示すアドバイザーです。地域の課題を教えてくれる『先生』は、協力してくださる地域の方。

『先生』にお願いしていること

- ① 地域の課題提示
 - ② 生徒が考えた解決策への助言
 - ③ 実践の場の提供と感想や意見
- ※ ①～③のどれか一つということもあります。

「発表」

「富士山学」の狙いに、吉高 GP「発信力」を高めることが挙げられます。学校では、探究の成果を発表する場を設け、年度末には特に優秀な代表者による発表会を企画しています。この発表会には、お世話になった地域の方にもお声掛けしています。

「評価」

「富士山学」は学校の授業で実施していますので、生徒たちの取り組みは以下のような観点で評価します。

- ① 調べ学習になっていないか
 - ② 地域の方とつながりを持てたか
 - ③ 根拠を持って解決策を考えたか
 - ④ 解決策を実践できたか
 - ⑤ 解決策が効果的であったか
- 解決策を考える③までの内容ができたら合格です。④⑤の観点をクリアできたものは高い評価となります。

「富士山学」はこんな学問

先生たちは、こんな悩みを抱えています。

勉強はよく頑張っているけれど、その知識をもう少し活用できるといいなあ。もっと社会で起きていることに目を向けてほしいなあ

自分で考え、主体的に勉強ができないものかなあ。

吉高 GP「発信力」をもっと伸ばしたいなあ。

自分のためだけではなく、誰かのために頑張る喜びを知ってほしいなあ。



これまでの学びを生かすことで
自己肯定力を高める新たな学びの場が必要だ！

生徒たちは、こんな悩みを抱えています。

座学ばかりだと、なんとなくやる気がでないよ。

何のために勉強しているのかなあ。

地域？あんまり興味ないな。勉強が忙しいもん。

将来、どんな仕事に就くのかな・・・心配だな。

私にできることってどんなことなんだろう。



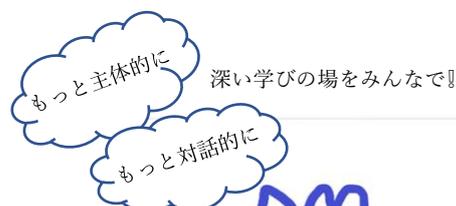
「富士山学」

「富士山学」とは、年に39回実施される「総合的な探求の時間」のうち、富士北麓地域の文化や産業を「自然科学」「防災」「産業」「街づくり」「芸術・文化」5つの領域に分けて、地域が抱える課題を探し、解決のための方策を考え、実践する授業です。

1年生は個人探究

2年生はグループ探究

を地域で活躍されている方々の協力を得て実施しています。



「地域の課題」

生徒たちは、次のような観点で課題を設定し探究を進めます。

- ① 調べて分かることではないか
 - ② 先入観で決めつけていないか
 - ③ 実現可能なものであるか
- インタビューやアンケートなどで、必ず地域の方の声を反映させることも重視して探究を進めています。

富士山学における地域社会との交流日程

1 学年

- 8 / 25 (水) : 中間発表 (本校体育館)
各自で設定した探求テーマについて、地域に住む講師から探求のヒントやアドバイスを受ける
※ 講師は別途依頼
- 11 / 17 (水) : 校外学習 (地域の企業・諸機関)
テーマ毎に地域の企業・諸機関などに赴き、現状などの確認
- 2 / 9 (水) : 学年発表会 (本校)
成果物を提示して発表。講師より評価を受ける

2 学年

- 6 / 16 (水) : グループ探求の企画書作成 (グループ毎本校内各会場)
富士吉田商工会青年部の講師から事例提供を受けるとともに、各グループ企画書にアドバイスを受ける
- 9 / 29 (水) : 中間発表 (グループ毎本校内各会場)
各グループで設定した探求テーマについて、これまでの成果発表とともに、地域に住む講師から探求のヒントやアドバイスを受ける
※ 講師は別途依頼
- 12 / 15 (水) : 校外学習 (地域の企業・諸機関)
テーマ毎に地域の企業・諸機関などに赴き、現状などの確認
- 2 / 9 (水) : 学年発表会 (本校)
成果物を提示して発表。講師より評価を受ける

学校目標・経営方針	Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことができる生徒を育成する
-----------	----------------------------------------

本年度の重点目標	1 生徒の知識活用能力を高める
	2 生徒の主体性を高める
	3 人とかかわりの中で生きていることを自覚させる
	4 「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価				年度末評価(月 日現在)		
番号	評価項目	具体的な方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	生徒の知識活用能力を高める	※1 吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識し、生徒の主体性をさらに育成する授業を実施する。	外部アンケート等			
		評価を適切に行い、生徒の自己効用感、自己肯定感の高揚を図る。	外部アンケート等			
		授業と運動した課題を設定し、知識の活用・定着を図る。	外部アンケート等			
2	生徒の主体性を高める	常に「分析し、思考し、創造し、発信する」機会の提供を意識した指導を行う。	外部アンケート等			
		身の回りに存在する課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し、行動する」ことができる生徒像を意識した指導を行う。	外部アンケート等			
		自分の言動に責任を持ち、自ら行動する態度を養う。	外部アンケート等			
3	人とかかわりの中で生きていることを自覚させる	周囲との関わりの中で、自己有用感を養う。	外部アンケート等			
		社会に関心を持ち、未来の社会について考える態度を養う。	外部アンケート等			
		ユネスコスクールへの加盟申請を契機とし、SDGsを意識させるとともに、ボランティア精神を養う。	外部アンケート等			
4	「働き方改革」を踏まえて業務の見直しを図る	生徒と触れ合う機会を増やすためにも、業務全体を見直し、分業と協業を推進する。	外部アンケート等			

学校関係者評価	
実施日(令和 年 月 日)	
評価	意見・要望等

※1) 吉田高校グラデュエーション・ポリシー(吉高GP) ... 本校3年間を通して8つの力(自己肯定力・傾聴力・分析力・思考力・発信力・想像力・創造力・行動力)を身につけること。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

令和2年度 山梨県立吉田高等学校 学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	Yoshida PRIDE を持って未来を生き抜くことができる生徒を育成する
-----------	----------------------------------------

山梨県立吉田高等学校 校長 古屋 勇人

本年度の重点目標	1 生徒の知識活用能力を高める
	2 生徒の主体性を高める
	3 生徒の社会性を養う

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標			令和2年度末評価(2月8日現在)
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	生徒の知識活用能力を高める	※1 吉田高校グラデュエーション・ポリシーを意識し、生徒の主体性をさらに育成する授業を実施する。	外部アンケート等
		評価を適切に行い、生徒の自己効用感、自己肯定感の高揚を図る。	外部アンケート等
		授業と連動した課題を設定し、知識の活用・定着を図る。	外部アンケート等

学校関係者評価	
実施日 (令和3年2月16日)	
評価	意見・要望等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・授業については、全体として達成率が高く、生徒・教職員が高い意識をもって、取り組んでいることがとても評価できる。 ・生徒が自ら課題を見つけ、将来のビジョンへ結びつけられるように各教科の授業や教科横断的な教育課程の改善等、生きる力の育成やカリキュラム・マネジメントに取り組んでおり、生徒・保護者からのアンケートからもその成果が感じられる。 ・見通しを立てた授業の振り返り、発展的な学習に取り組むための家庭学習との接続等、アンケートでの振り返りや検証・考察を丁寧に行い、さらなる改善に取り組もうとしていることが好結果につながっていると思う。 ・コロナ禍のもとで学校生活が様々な制限・制約を受けたはずだが、それを感じさせないような結果であると思う。 ・「授業の楽しさ」については、1学年と3学年は高い達成率となっていて非常に良いと思うが、2学年で他の学年よりも20ポイント低い60%となっていることが気になる。「自己評価」において「感染症拡大の中で対面型協働型の授業形態が限定されている結果」と分析しているが、そうであるならば、他の学年でも低くなるはずなので、他の原因があるかと思う。メモや付箋の共有、ノートの見せ合い等の工夫を行い、自他の考えを交流させる方法があるので、協働型の授業形態を継続させてほしい。いずれにせよ、2学年の達成度が低い原因を究明していくべきである。

自己評価						
本年度の重点目標			令和2年度末評価(2月8日現在)			
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標			
		自己評価結果	達成度			
		成果と次年度への課題・改善策				
2	生徒の主体性を高める	常に「分析し、思考し、創造し、発信する」機会の提供を意識した指導を行う。	外部アンケート等	A	<ul style="list-style-type: none"> ・当面は同じような社会状況であると考えられることから、授業はもちろん、新しい生活スタイルを踏まえて、行事に関しても出来ることを考え、効果的な教育活動を実施していく。 ・左の2番目の項目に対して、達成できていない生徒への指導が必要である。そのためには、生活規律、学習規律を確保し、声掛け、授業内容、指導方法を工夫することで生徒が「身の回りの課題」に注意が「向く指導を行う。 ・コロナ禍で行動が制限されている中で行動力について高い達成率が得られた。自らの言動による責任感については吉高GP8つの力(傾聴力・思考力・想像力など)全体が大きいかかわってくるので、今後も生徒が主体的に取り組むように教員からの指導を工夫し、継続する。 	
		身の回りに存在する課題を発見し、他者との関係の中で「傾聴し、想像を共有し、行動する」ことができる生徒像を意識した指導を行う。	外部アンケート等			<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートの中の「身の回りに存在する課題に対して意欲的に行動している」の項目における評価が高く、過年度からの経年比較を見ても、生徒の主体性が高まっていると評価できる。
		自分の言動に責任を持ち、自ら行動する態度を養う。	外部アンケート等			<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートの中の「身の回りに存在する課題に対して意欲的に行動している」の項目における評価は高く、又過年度からの経年比較を見ても、生徒の主体性が高まっていると評価できる。想像力(結果を考えて想像する力)の育成について保護者からも昨年度を上回る達成率の評価を得ている。
3	生徒の社会性を養う	周囲との関わりの中で、自己有用感を養う。	外部アンケート等	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「富士山学」において緊急事態宣言が解除されている期間に商工会青年部の皆さんなどが来校して下さり様々な課題を学ぶことができた。来年度は本年度の経験をもとに様々な事態に対応しながら「富士山学」、理数科の「課題研究」「研究所訪問」などの校外学習が実施できるようにする。 ・富士山学について学ぶ中で、地域社会との関わりを調べたり意識している生徒は多い。また、福祉講話でフードドライブ活動について知り、また活動に参加することにより、社会との関わりについて意識することができたと推察できる。よって社会との関わりを常に意識させる指導を明確に行い、生徒会活動では部単位でのボランティア活動もさらに充実させていく。 ・生徒・職員へのSDGsへの取り組みは、臨時休業終了後の授業等において、全校的な啓発活動が充実した結果が高くなった。保護者については、民間クラウドサービス「Classi」やHPなどを活用した啓発活動をさらに活性化させることが達成率を高くすることにつながるのではないかと思います。今後もSDGsの取り組みを通して、生徒の地域を越えた地球規模の課題にも関心を向けさせ、さらに社会の一員としてボランティア精神を養い、これらの教育活動についての保護者への理解にも力を注ぐ。 	
		社会に関心を持ち、未来の社会について考える態度を養う。	外部アンケート等			<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の人々との関わりについて」の達成率が1、2年生において昨年度比率は向上しているものの、5～6割程度と低い結果となった。例年である「富士山学」や理数科の「課題研究」において地域に出て住民の方や大学、研究機関とふれあいを重ねていくのだが、本年度はコロナ禍の影響で計画通りにいかなかったことも一因と考えられる。
		ユネスコスクールへの加盟申請を契機とし、SDGsを意識させるとともに、ボランティア精神を養う。	外部アンケート等			<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は、地域社会との関わりについての自己評価は、平均6割程度と、やや低い結果になっている。実際には、富士山学や、フードドライブ、ボランティアへの参加などを通して、社会との関わりを意識しないながらも、地域などの社会との関わりはあると考えている。 ・生徒・職員については、例年と比べて達成率が大きく向上しているのが今年の特徴である。保護者については、達成率が8割に達していない。

※1) 吉田高校グラデュエーション・ポリシー(吉高GP) ……本校3年間を通して8つの力(自己肯定力・傾聴力・分析力・思考力・発信力・想像力・創造力・行動力)を身につけること。

学校関係者評価	
実施日(令和3年2月16日)	
評価	意見・要望等
4	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の言動に責任を持つという点で生徒の自己評価が全ての学年において高く、真面目で粘り強く物事に取り組む姿勢が表れている。一方、責任感が高いゆえのストレスをため込んでいないかが気になる。百折不撓の精神で乗り越えることを期待するが、コロナ禍において例年よりも、我慢することや対策を強いられる中、是非、生徒がストレスを発散できるような対策などを期待したい。 ・生徒の概ね9割が「主体的に行動できている」と評価しているが、教職員は6～7割と低く捉えている。この差は何であるのかを分析し、主観的評価と客観的評価の差を縮めていく努力を求める。 ・吉田高校の歴史や伝統によって、コロナ禍によって限られた条件の中での活動となってしまったが、出来ることを工夫して取り組んだことによって、生徒の主体性を育むことができていると、生徒や保護者のアンケートから感じとれる。今まで取り組んできたことが活かされていると思う。 ・保護者の評価で学習時間、睡眠時間、時間の有効活用について、生徒の評価との差があるので、生徒に対する「時間管理に対する指導」の改善が必要である。 ・吉高GPによって、生徒は主体性を高めることができているのではないかと思う。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活をこなしながら「地域の人々と関わりを持つ時間」を工夫することはとても難しい。また、コロナ禍によって、地域活動に参加することも難しい。そのような状況を考慮すると、「地域の話題や課題など意識して生活する」という意識を持たせる指導で十分であると思う。その一方で「以前よりボランティアについて意識し、行動するようになった」は7月と比較してもすべての学年において1割程度アップしており、コロナ禍においてよりボランティアを身近に感じ意識したのではないかと推測できるので、「社会性」は少しずつ育成できているのではないかと思う。 ・「富士山学」「課題研究」「研究所訪問」等、コロナ禍でも地域とのつながりを教育活動の中で維持できていることは、今までの取組の成果や財産が大切にされている証であると思う。普段から「地域」の中で活動しているということを指導することによって、評価は改善されていくと思う。 ・「地域の人々との関わり」に関しての評価が、昨年度と同様に低い達成率となっている。コミュニティ・スクールの設置にもない、この点はますます重要なテーマになると思うので、「次年度への課題・改善策」に書かれていることは確実だと思う。来年度は改善できるように一層努力してほしい。

令和3年度学校評価年間スケジュール

日程（暫定）	学校評価の活動	学校運営協議会
4 / 1（木）	職員会議 令和3年度本校教育目標等の提示	4 / 10（土） 第1回学校運営協議会
4 / 5（月）	職員会議 年間スケジュールの提示	
5 / 19（水）	第1回学校評価委員会 学校評価アンケート質問項目の提示及び検討	
5 / 26（水）	職員会議	
6 / 9（水）	第2回学校評価委員会 学校評価アンケート質問項目の決定	
7月上旬	学校評価アンケートの実施 (第1回生徒・教職員対象)	
9 / 3（金）	第3回学校評価委員会 第1回学校評価のまとめと第2回学校評価アンケートの検討	
		10月 第2回学校運営協議会
11月上旬	学校評価アンケートの実施 (第1回保護者対象)	
11月下旬	学校評価アンケートの実施 (第2回3学年生徒対象)	
1月中旬	学校評価アンケートの実施 (第2回1・2学年生徒、教職員対象)	
2 / 7（月）	第4回学校評価委員会 第2回学校評価のまとめ	2月7日以降 第3回学校運営協議会
3 / 10（木）	第5回学校評価委員会 年度末評価の検討・次年度計画策定	